

事業名	栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会佐野支部支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	教育部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	生涯学習課			款	10	新規or継続	継続事業
	係	社会教育係			項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	社会教育法(第11条)、栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会佐野支部補助金交付要領	事業開始年度	S61	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり		終了年度	-	事業分類	支援事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会佐野支部へ補助金を交付することにより、団体の事業活動を充実・安定させ、団体の活動により本市の社会教育の推進を図る。 栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会佐野支部は、家庭教育振興のために会員相互の研修及び情報交換、子育て支援を行うことを目的として、日々活動している。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会佐野支部の円滑な運営と財政の健全化を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		団体の補助金執行率	%	100	100	100	100	100

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に 行った主な活 動内容)	【市の活動】 ・補助金交付	活動指標	単位	R3	R4	R5
	【栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会佐野支部の活動】 ・支部研修会 ・安足ブロック研修会 ・団体の活動拠点での自主活動（保健センターやこども国等でのボ ランティア活動など） 等	補助団体数	団体	1	1	1
		事業費計	千円	60	60	60
		一般財源	千円	60	60	60
	特定財源（国・県・他）	千円				
	（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	支援により、団体の目的である、家庭教育振興のための会員相互の研修及び情報交換、子育て支援の実施を図ることができた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		団体の補助金執行率	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標		費用は下がった		
	効果が下がった指標数	0指標		費用の増減無し	○	
	指標全体	効果は変わらない		費用が増加した		

費用	費用は下がった		
	費用の増減無し	○	
	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

引き続き補助金の交付と合わせ、適時適切な助言や支援を行う。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明

事業名	「小さな親切」運動佐野支部支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	教育部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	生涯学習課			款	10	新規or継続	継続事業
	係	社会教育係			項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	社会教育法（第11条）	事業開始年度	S59	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり	佐野市社会教育関係団体補助金交付要領	期間終了年度		事業分類	支援事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	「小さな親切」運動佐野支部に補助金を交付している。補助金は団体の運営費補助金的性格のものである。 同支部は佐野市内における「小さな親切」運動の普及推進を図り、もっと明るく住みよい郷土の建設に寄与することを目的として設立した団体である。
------	--

（2）目的

目的 （本事業によって成し遂げたい状態）	「小さな親切」運動佐野支部の円滑な運営と財政の健全化を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		団体の補助金執行率	%	100	100	100	100	100

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 （R 5 年度に行った主な活動内容）	【市の活動】 ・補助金交付 【「小さな親切運動」佐野支部の活動】 ・小・中・義務教育学校交歓会の開催 ・ポスター、標語の作成等による「小さな親切」運動の普及等	活動指標	単位	R3	R4	R5
		補助団体数	団体	1	1	1
		事業費計	千円	50	50	50
		一般財源	千円	50	50	50
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 （定量及び定性）	団体の目的である、佐野市内における「小さな親切」運動を普及推進を支援することができた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		団体の補助金執行率	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 （R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標					
	効果が下がった指標数	0指標		費用の増減無し	○		
	指標全体	効果は変わらない		費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

引き続き補助金の交付と合わせ、適時適切な助言や支援を行う。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

事業名	佐野ユネスコ協会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1．基本情報

担当組織	部	教育部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	生涯学習課			款	10	新規or継続	継続事業
	係	社会教育係			項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	事業期間	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		開始年度	S48	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり		終了年度	-	事業分類	支援事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進					

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野ユネスコ協会へ補助金を交付することにより、団体の事業活動を充実・安定させ、団体の活動により本市の社会教育の推進を図る。 佐野ユネスコ協会は、ユネスコ憲章の精神に基づき、教育・科学・文化を通じて国際理解と国際協力を進め、世界の平和に貢献するとともに、あわせて地域社会の向上と会員相互の親睦を図ることを目的として、日々活動している。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野ユネスコ協会の円滑な運営と財政の健全化を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		団体の補助金執行率	%	100	100	100	100	100

（3）目標値

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	【市の活動】 ・補助金交付 【佐野ユネスコ協会の活動】 ・夏のキャンペーン（平和の民話語り、平和の鐘を鳴らす運動） ・ユネスコ世界遺産移動写真展 ・ユネスコスクールや小中学校・高校との連携 ・世界寺子屋運動（書きそんじハガキ回収運動、募金活動） ・音楽委員会コンサート ・50周年事業『佐野の民話』英訳版」制作等	活動指標	単位	R3	R4	R5
		補助団体数	団体	1	1	1
		事業費計	千円	70	70	70
		一般財源	千円	70	70	70
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	支援により、団体の目的である、世界の平和への貢献、地域社会の向上と会員相互の親睦の実施を図ることができた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		団体の補助金執行率	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標		費用は下がった		
	効果が下がった指標数	0指標		費用の増減無し	○	
	指標全体	効果は変わらない		費用が増加した		

4．次年度に向けた検討

（1）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

引き続き補助金の交付と合わせ、適時適切な助言や支援を行う。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明

事業名	佐野市子ども会連合会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	生涯学習課		佐野市子ども会連合会支援		款	10	新規or継続	継続事業
	係	社会教育係		事業		項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業期間	開始年度	S50	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり			終了年度	-	事業分類	支援事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進						
				根拠法令、条例等					
				社会教育法(第11条)、佐野市社会教育関係団体補助金交付要領					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市子ども会連合会へ補助金を交付することにより、団体の事業活動を充実・安定させ、本市の社会教育の推進を図る。 佐野市子ども会連合会は、市内26地区の子ども会育成会と連携し、子ども会育成会活動の充実と子どもたちの健全育成を図ることを目的として、日々活動している。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市子ども会連合会の円滑な運営と財政の健全化を図る。
-------------------------	-----------------------------

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
団体の補助金執行率	%	100	100	100	100	100

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R 5 年度に行った主な活動内容)	【市の活動】 ・補助金交付 ・事務局 【佐野市子ども会連合会の活動】 ・子ども会安全共済会への加入(通年) ・子ども会ジュニアリーダー研修会(中止) ・佐野かるた取り大会(1月) ・子ども会育成者研修講座(中止)
----------------------------	---

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
子ども会安全共済会加入者数(小学生)	人	5,167	5,010	4,857
子ども会ジュニアリーダー研修会参加者数	人	0	0	0
佐野かるた取り大会参加者数	人	0	0	66
事業費計	千円	1,040	1,010	1,050
一般財源	千円	1,040	1,010	1,050
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	子ども会育成会活動の充実と子どもたちの健全育成を図ることができた。
------------------	-----------------------------------

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
団体の補助金執行率	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標
	効果は変わらない指標数 1指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果は変わらない

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果			
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった		
	費用の増減無し	○	
	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

「かるた取り大会」は開催することができたが、「子ども会ジュニアリーダー研修会」と「子ども会育成者講座」は開催することができなかった。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 ①事業実施に向け、組織の体制強化を行う。 ②開催方法や事業内容の見直しを行う。
---	--

事業名	葛生ジュニアリーダースクラブ支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	教育部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	生涯学習課			款	10	新規or継続	継続事業
	係	社会教育係			項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	社会教育法（第11条）	事業開始年度	S47	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり	佐野市社会教育関係団体補助金交付要領	期間終了年度		事業分類	支援事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	葛生ジュニアリーダースクラブへの運営補助をすることにより、団体の事業活動を充実・安定させ、団体の活動により、本市の青少年の健全育成を図る。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	葛生ジュニアリーダースクラブの円滑な運営と財政の健全化を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		団体の補助金執行率	%	100	100	100	100	100

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R 5 年度に行った主な活動内容)	【市の活動】 ・補助金交付 【葛生ジュニアリーダースクラブの活動】 ・子どもを対象とした主催事業の開催（チャレキャン塾） ・市の各種事業に対しての参加協力等	活動指標	単位	R3	R4	R5
		補助団体数	団体	1	1	1
		事業費計	千円	150	150	150
		一般財源	千円	150	150	150
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	団体の活動を安定充実させ、本市における社会教育の推進を図ることができた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		団体の補助金執行率	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標		費用の増減無し		○	
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した			
	指標全体	効果は変わらない					

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

引き続き補助金の交付と合わせ、適時適切な助言や支援を行う。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

事業名	生涯楽習フォーラム開催事業	実施計画事業or一般事業		一般事業	市長公約	1-①	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性		SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	生涯学習課		生涯学習フォーラム開催事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	生涯学習係				項	4	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	2	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり			開始年度	H29	実施方法	直営	
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり				終了年度	－	事業分類	イベント等開催事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	生涯学習社会の実現を目指し、市民が一堂に会して生涯学習のまちづくりや人づくりについて考え、市民の生涯学習活動へのきっかけづくりするとともに、楽習成果の発表の場を提供するイベントの開催。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民の生涯学習活動のきっかけづくりを提供し、参加・体験することにより、生きがい深しや交流の輪を広げる。学習成果の発表により新たな活動につなげ、地域での学びを活かした活動を促進する。
-------------------------	--

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
生涯学習ボランティア登録者数	人	430	435	440	445	450
楽習講師が社会へ還元した件数	件	300	310	320	330	340

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R 5 年度に行った主な活動内容)	実行委員会を組織して「佐野市生涯楽習フォーラム2024『佐野楽』」を開催。 日時：令和 6 年 3 月 2 日(土)、3 日(日) 場所：佐野市文化会館 内容：2 日 開会式典、基調講演、市長対談、分科会 両日 楽習フェア、静のアート作品展
----------------------------	--

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
延べ参加者数	人	－	1,000	2,000
参加して良かったとする割合	%	－	86	83
事業費計	千円	273	290	278
一般財源	千円	273	290	278
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	生涯学習ボランティア登録者数は年によりばらつきがあるが、楽習講師が社会へ還元した件数はコロナ禍が明けて増加傾向にある。
------------------	---

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
生涯学習ボランティア登録者数	人	332	273	309	値が大きいほど良い	効果が上がった
楽習講師が社会へ還元した件数	件	50	159	184	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 2指標
	効果は変わらない指標数 0指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果が上がった

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果			
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった		
	費用の増減無し	○	
	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

幅広い年齢層の方、より多くの方に参加してもらうため、社会情勢に即した内容が求められる。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 講演会等を魅力的な内容にするとともに、周知の方法を工夫し、より多くの方の参加を促す。また、楽習成果の発表の場を提供することにより、生涯学習活動の促進を図る。
---	--

事業名	楽習出前講座開催事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	1-①	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当あり

1. 基本情報

担当組織	部	教育部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	生涯学習課			款	10	新規or継続	継続事業
	係	生涯学習係			項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業開始年度	H8	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり		終了年度		事業分類	イベント等開催事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	5人以上の団体・グループ等の要望に応じて、市民が自主的に運営する講座に、楽習講師及び市職員を派遣し、講話や実習などを行う。講座内容は、広報さの・市ホームページ・生涯学習メニューパンフレットにより周知する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	学習グループは、学習の機会及び市民と交流する機会を確保することができる。 楽習講師は、学習成果を発表する機会及び市民と交流する機会を確保することができる。
-------------------------	--

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
出前講座実施回数	回	100	100	110	120	130
出前講座登録メニュー数	講座	220	220	225	230	235

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	●楽習講師登録者数：126 【個人】95人【団体】31団体 ●楽習出前講座登録数：216 【楽習講師編】176講座【行政編】40講座 ●楽習出前講座実施状況：114 【楽習講師編】74回（受講者数：1,434人） 【行政編】40回（受講者数：594人） ●実施された主な講座の内容：消費生活講座、紙バンドで編むかごとバッグ、民話語り、防災のはなし等
--------------------------	---

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
出前講座受講者数	人	516	1,677	2,028
出前講座開催数	回	38	87	114
楽習講師登録者数	人	143	130	126
事業費計	千円	39	57	48
一般財源	千円	39	57	48
特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
（うち受益者負担）	千円	0	0	0

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	出前講座登録メニュー数について、楽習講師編は減少したが、行政編は増加した。
------------------	---------------------------------------

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
出前講座実施回数	回	38	87	114	値が大きいほど良い	効果が上がった
出前講座登録メニュー数	講座	224	218	216	値が大きいほど良い	効果が下がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	
効果 (R5とR4の 指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	
	効果は変わらない指標数	0指標	
	効果が下がった指標数	1指標	
	指標全体	効果は変わらない	

※10万円以上の増減により判断

効果			
費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	費用は下がった		
	費用の増減無し	○	
	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

魅力あるボランティア活動として定着するよう、楽習講師の活動の場を広げる必要がある。そのため、出前講座の活用事例の紹介や楽習出前講座の広報を充実させる。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 広報やホームページ等で出前講座を周知することで、登録講師数・講座利用者数の増加を図るとともに、学習のニーズを把握し新規の利用を促す。また、オンライン講座については、要望があれば対応していく。
---	---

事業名	生涯学習推進支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	1-①	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当あり

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名		予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	生涯学習課		生涯学習推進支援事業			款	10	新規or継続	継続事業
	係	生涯学習係					項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		-		開始年度	H3	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり				終了年度	-	事業分類	イベント等開催事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	市民が主体となった生涯学習のまちづくりを推進するため、生涯学習を推進する民間団体等と連携・協働しながら、効果的に生涯学習施策・事業を展開する。具体的には、楽習講師による企画講座がある。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	楽習講師が学習成果を活かした講座を積極的に企画する。 市民が生涯学習に取り組むきっかけづくりとして、多くの講座に参加する。
-------------------------	--

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
楽習講師登録者数	人	170	155	160	165	170
一人あたりの楽習講師が社会還元した件数	件	2.2	2.4	2.2	2.2	2.1

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	楽習講師企画講座 23回、284人受講 活躍人養成講座は実施なし
--------------------------	-------------------------------------

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
楽習講師企画講座開催回数	回	12	19	23
受講・参加者数	人	132	134	284
事業費計	千円	0	3	11
一般財源	千円	0	3	11
特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
（うち受益者負担）	千円	0	0	0

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	令和4年度に比べ、楽習講師の登録者数は減少しているが、企画講座開催数や楽習フェア参加講師数が増加したため、学習で培った知識、技術を社会に還元する割合が増加した。
------------------	--

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
楽習講師登録者数	人	143	130	126	値が大きいほど良い	効果が下がった
一人あたりの楽習講師が社会還元した件数	件	0.3	1.2	1.5	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数1指標
	効果は変わらない指標数0指標
	効果が下がった指標数1指標
	指標全体効果は変わらない

※ 10万円以上の増減により判断

効果			
費用が下がった	費用が増減無し	費用が増加した	効果
			効果が上がった
			効果が変わらない
			効果が下がった

4. 次年度に向けた検討

（1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

魅力あるボランティア活動として定着するよう、楽習講師の活躍の場を広げる必要がある。そのため、企画講座の紹介や広報を充実させる。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 学習成果を活かした講座を積極的に行えるよう支援を行い、新たなボランティア講師の登録を促進するための講座を行う。また、オンライン講座については、要望があれば対応していく。
---	--

事業名	佐野市小中義務教育学校 P T A 連絡協議会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	生涯学習課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	社会教育係				項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業期間	開始年度	S52	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり			終了年度	-	事業分類	支援事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市小中義務教育学校 P T A 連絡協議会へ補助金を交付することにより、団体の事業活動を充実・安定させ、団体の活動により本市の社会教育の推進を図る。 佐野市小中義務教育学校 P T A 連絡協議会は、市内の P T A 相互の連絡調整を図り、小学校、中学校および義務教育学校における P T A 活動を通じて、青少年の健全育成と福祉の増進を図り、学校教育・家庭教育・社会教育の充実振興に寄与することを目的として、日々活動している。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市小中義務教育学校 P T A 連絡協議会の円滑な運営と財政の健全化を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		団体の補助金執行率	%	100	100	100	100	100

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R 5 年度に行った主な活動内容)	【市の活動】 ・補助金交付 【佐野市小中義務教育学校 P T A 連絡協議会の活動】 ・総会、役員会の開催 ・ P T A 研修会、P T A 研修会（キャリア教育）の開催 ・教育フォーラムの開催等	活動指標	単位	R3	R4	R5
		補助団体数	団体	1	1	1
		事業費計	千円	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	0
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	支援により、団体の目的である、学校教育・家庭教育・社会教育の充実振興への寄与を図ることができた。 ※令和 3・4・5 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響等により開催できない事業があり補助金が不要となったため、変更交付決定により補助金を返納してもらった。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		団体の補助金執行率	%	0	0	0	値が大きいほど良い	効果は変わらない

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標			
	効果が下がった指標数	0指標			
	指標全体	効果は変わらない		○	

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和 5 年度は、令和 3・4 年度同様に新型コロナウイルス感染症の影響等により開催できない事業があり補助金が不要となったため、変更交付決定により補助金を返納してもらった。 引き続き補助金の交付と合わせ、適時適切な助言や支援を行う。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

事業名	佐野市原水爆禁止協議会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	教育部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	生涯学習課			款	10	新規or継続	継続事業
	係	社会教育係			項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	社会教育法(第11条)、佐野市原水爆禁止協議会補助金交付要領	事業開始年度	S47	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり		終了年度	-	事業分類	支援事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市原水爆禁止協議会へ補助金を交付することにより、団体の事業活動を充実・安定させ、団体の活動により本市の社会教育の推進を図る。 佐野市原水爆禁止協議会は、平和のためすべての国の原水爆禁止並びに被爆者救護の為に努力し援助を行うことを目的として、日々活動している。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市原水爆禁止協議会の円滑な運営と財政の健全化を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		団体の補助金執行率	%	100	100	100	100	100

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R 5 年度に行った主な活動内容)	【市の活動】 ・補助金交付 【佐野市原水爆禁止協議会の活動】 ・被爆者救済カンパ活動 ・原水爆禁止世界大会（広島大会）への派遣 ・広島及び長崎の被爆写真の展示（市民活動スペース）等	活動指標	単位	R3	R4	R5
		補助団体数	団体	0	1	1
		事業費計	千円	0	50	50
		一般財源	千円	0	50	50
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	支援により、団体の目的である、平和のためすべての国の原水爆禁止並びに被爆者救護の為に努力・援助の実施を図ることができた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		団体の補助金執行率	%	0	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標					
	効果が下がった指標数	0指標		費用の増減無し	○		
	指標全体	効果は変わらない		費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

引き続き補助金の交付と合わせ、適時適切な助言や支援を行う。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------